

第14回 「第4次豊田市農業基本計画（案）」に関するアンケート

実施期間：12月16日（月）～12月25日（水）

回答者数：186人

【1】豊田市の特産品（ブランド化推進品目16品目）をご存じでしたか？

豊田市の特産品をすべて知っていた	5
豊田市の特産品のうち半分以上知っていた	40
豊田市の特産品のうち知っているものもあったが、半分以上は知らなかった	127
豊田市の特産品について全く知らなかった	14

【2】豊田市の地産地食の推進について、必要だと思うことを最大3つまで教えてください。 （複数回答可）

豊田市産であることの表示	122
販売店等での地元産コーナーの設置	114
生産者から直接購入できるシステムづくり	57
地元生産者との交流	14
消費者にとって適正な価格での提供	82
年間を通じた安定的な品ぞろえ	19
豊田市産農産物を使用した加工品の開発	17
施設や企業の食堂、病院、学校給食等での積極的な活用	69
その他	4

その他

学校や子ども園での食育イベントの企画など。小学校の給食献立ニュースでは豊田市産の食材が紹介されているので、とても良いと思います。

豊田市産のものにシールを貼り、そのシールで応募できるなどがあると購入が増えるかと思いました。

価格の調整

他との違いが知りたいです

【3】豊田市産の農産物の購入頻度を教えてください。

週に2～3回以上購入している（→Q4へ）	18
週に1回程度購入している（→Q4へ）	48
月に1回程度購入している（→Q4へ）	54
ほとんど購入したことがない（→Q5へ）	36
産地を意識したことが無い（→Q6へ）	30

【4】 豊田市産の農産物を購入する理由を最大3つまで教えてください。（複数回答可）

新鮮だから	89
おいしいから	23
安全だと思うから	37
旬の素材が手に入るから	62
栄養価が高いと思うから	6
生産者の顔が見えるから	21
売り場が家の近くにあるから	21
値段が安いから	28
環境へのこだわり	9
その他	3

その他

地域の応援
フードマイレージは短いに越したことはないと考えているので。
地元産の方が安心があるように感じる。

【5】 豊田市産の農産物を購入しない理由を最大3つまで教えてください。（複数回答可）

痛みが気になる	2
色や形が良くないと感じる	2
味があまりよくないと感じる	0
購入できる場所を知らない	15
売り場の品揃えが少ない	19
売り場が家の近くにない	20
値段が高そうだから	23
その他	4

その他

農産物の買い物を妻がしているため、産地がよく分からない。
県外の農産物のが安価だから
家事をしないので、買い物をしていません
値段が高い

【6】 農作業や農業体験などを行ったことがありますか？

どちらも行ったことがある	36
農作業を行ったことはあるが、農業体験を行ったことはない	47
農作業を行ったことはないが、農業体験を行ったことはある	22
どちらも行ったことがない	81

【7】 市民が農業に触れる機会として、どのような機会があれば参加したいですか？（最大3つまで）

市民農園、貸し農園	56
農業に関する勉強会、栽培講習会	39
収穫体験イベント	125
産地をめぐるツアー	68
豊田市産農産物を活用した料理教室	42
農家民泊や農家レストラン	62
その他	2

その他

学校単位で農家さんと契約をして、年に何回か手伝いに行ったり、そこで作った農作物が給食で出てきたりすると良いかなと思いました。
農業の全体体験（米であれば、田起こしから収穫、脱穀まで）をする

【8】「第4次豊田市農業基本計画（案）」について、ご意見があればお聞かせください。

基本計画は分かり総論賛成です。農ライフ2期生ですがその後なす部会に入会し10年間出荷してきました。なすについてはその都度問題があれば相談に乗って頂き、満足でした。今から思えば当初から先々のことを考え他部会の路地野菜情報(勉強会)などの紹介があればもっと継続できたのではないかと思います。

食べる事は生きていく上で大変重要なことですので、農業は非常に大切だと思います。農作物を身近で調達出来るようにすることは安定した生活を過ごすうえで必要なことと感じます。

今後、特に若い人が農業（酪農なども）興味を持ち、参加できる様に金銭補助や生産から販売のシステム作り肉体的負担度の軽減の施策など大切に思います。

農業を産業として維持して行くためには、体験とか交流とか悠長なことを言っている場合では最早ないと思う。

特定の利害に左右されることのないように有効な施策を進めていただきたいと思う。

自給自足や小さな農業を広めてほしい。

農業に関する自給率を上げる施策が望まれる。

豊田市においても全国同様に農業従事者の減少と高齢化が進んでおり、耕作放棄地も増えている。こうした農業リタイア者と豊田市農ライフ創生センターの卒業生を行政のマネジメントでジョイント出来ないか。

農業者の高齢化、農地の維持保全は今後大きな問題となるが、農業への新規参入促進の施策は重要。会社が農業に参入する障壁を緩和するなど抜本的な政策が必要。

農業従事者が減少傾向にあることは深刻な問題と感じている。

農家を廃業する理由としての主な理由は、家畜飼料や燃料費の高騰と聞く。

次世代の後継者、新たな人材の確保、育成とともに、農業従事者を取り巻く環境の改善が急務と感じる。

農業はとても大切だと思いますが、大変な労力でなかなか成り手もないのかなと思います。一朝一夕では難しい部分もあると思いますが、市民が収穫時に手伝い（アルバイト）出来ると身近に感じて、地産地食にも繋がったり、農業の労働力不足の解消にも繋がらないかなと思います。

若い人の農業離れが多いと聞き危機感を感じている。

どの様にすれば農業に興味を持ってくれるかを真剣に考えた方が良いかも・・・？

鳥獣害対策は作物だけでなく人への被害も想定されるので細かな情報発信は是非ともしていただきたい。田んぼ一枚にスマートロボを導入するのは割に合わないので安価でレンタル等できるようになると個人でも使用できて嬉しい。付近に元々田んぼや畑だった荒れた土地があり猪の被害が酷い。そのような土地を市民農園などとして貸し出す術はないのかと思う

ブランド化するカテゴリがあっても良いとは思いますが。
私は近くに産直市場があるのでよく利用しますが、魅力は安くて新鮮なことです。すべてブランド化することによって高価になってしまったら購入しづらくなります。
公設市場は、先日初めて利用しましたが、行った時間にもよるとは思いますが利用しやすい雰囲気でないように感じました。
山間部の農地は高齢化があり持ち主たちが管理することは厳しいだろうと思います。農業法人のようなものが関わると良いと思います。農業体験のようなイベントより、今ある農地を持続できるような方向が必要です。街中に農地のある友人は今も続けていますが、山の中に農地がある友人はやはり維持が難しいと言っています。

豊田で農業に従事されている方々の豊田市の支援が必要です。
支援内容は、農業従事者の要望をヒアリングして計画的に進めるべきです。
ただ、思うのは、やはりブランド化が必要です。そのための方策をみんなで考える必要があると思います。

4環境に優しい農業の推進

- ・化学肥料の多用が引き起こすと土壌に何が起きるのかの勉強会を開催する
- ・エコットでダンボールコンポストを家庭で行う取り組みはあるが、出来た堆肥を上手く使えず止めてしまう方もいるのではないかな。

コンポスト機材(基材)の貸し出しや費用補助を知らない方も多いただろうし、コンポスト使用者としては堆肥をもらってくれるサービスもほしいです。そしてその堆肥を使用した作物の栽培・収穫・販売まで繋がってくれる循環を策定し実践してもらいたいです。

計画案を見るまで、豊田市公設地方卸売市場の老朽化が進んでいることを知りませんでした。広報とよたで市場開放日やイベントの告知があることが紹介されていますが、特集などで卸売り市場の魅力を発信できるとよいのではないかと思います。地産地消の知識や情報を広めるためにも、学校給食や企業の献立にも豊田市産の食材を取り入れて、情報発信などに取り組んでいくと認知度が上がると思いました。

地産地食などは賛成ですが、地産の物の方が高かったりして、地産を謳って高く値を付けているのでは？・・とってしまうことがあります。流通経路を単純・透明化して、そのようなことはないことを示してくれば、より協力したいと思います。

産業フェスタで梨を販売しているのを見かけました。そのような機会がたくさんあるといいと思いますが、カゴ売りしかなかったので結局購入しませんでした。バラ売りなど、もっと買いやすい数や方法で農協などの小売店でも販売してほしいと思います。

豊田市で農産物を作り、それを消費することで、海外からの輸入を減らし、自給率を増大させる事が大切です。

豊田市は町中近辺には、道の駅がありません。山間地域や、豊田市で獲れる野菜類を道の駅で売るとい活動をしていましたが、実現しませんでした。JAでも一部販売していますが・・・

豊田市で獲れた野菜や果物を専門に販売するお店を計画したらいいかもしれませんね

子供の頃から給食や食卓等々地元のものを身近に感じる環境も地元愛につながると感じています。地産地消をこれからも大切にしたい。

未来に農業を続けていくために必要だと思えます。もっと地産地消コーナーを設けるといい。イオン、マックバリュー、JAは近くにない、しか見かけない。

お米がかなり高くなりましたが、農家さんを応援するべく豊田産のお米を買うことにしています。

豊田市に全国でも有名な特産品がたくさんあることは知っていましたが、意外に知らないものもありました。それらはまだまだ周知が足りないのだなと思えます。

昨今話題のスマート農業。若い生産者なら抵抗なく受け入れられるでしょう。どんどん導入して、効率的に採算の取れるビジネスに役立ててもらいたいです。市もそのあたりに充分な後押しや補助をすることで、豊田市の農業の未来も明るいと思えます。

消費者からしても、お歳暮などで積極的に豊田市のものを贈りたいので、ネット注文など利用しやすいようポータルサイトなど作ってくれと助かります。

まず、我が家から一番近くにあった畝部地区で野菜の産直があったのがなくなってしまったのがとても残念です。旬のお野菜がお値打ちに購入できるので以前は週に何度も出向っていたのですが、今はそれがなくなり、安城市まで出向いて野菜を買っています。

また、豊田市でも北の地域に行くと、土地も多くあり場所によってはブルーベリーを栽培していたりする農家さんがいます。一生懸命作ってくださっても、そちらまで買いに行けられないのが現状です。

農地の有効利用、農家さんの活躍、購入できる場所、機会などを検討し、もっと活性化していけるといいと思えます。

問いに合ったように、収穫体験イベントや、農地の訪問等は、お子様のいる家族にはとてもいいイベントだと思います。野菜嫌いも減る手助けにもなる気がします。

野菜が高騰しているので、ぜひ豊田市民作り手、買い手にベストな形ができるのを期待しています。

販売してる場所が少ないので、たくさんできるといいと思えます。

豊田産の農作物は新鮮で美味しく、いつも街の産直を利用しています。お茶やお米も豊田産のに最近変えました。満足しています。

地産地消はとても大切なことだと思っています。どこのスーパーへ行っても地産地消コーナーがあると良いと思えます。豊田市としても積極的に市内のスーパーに働きかけて地産地消コーナーを増やしていただければと思えます。

豊田市の果物やお米は地元の方は良く知っていると思います。他にもたくさんの食品があるので、広く他の県にも知ってもらえるようにネットなどを利用して広める必要があると思います。地元で買えるので通販で買えるか知りませんが、沢山人に知ってもらえる機会があると良いと思います。

地元産というPRが少ない。もっと学校教育の場面での啓発活動を多くすべきである。

高齢・人口減少と、課題が多いですが、子どもの時に、農業は楽しいという体験をすると、大人になってから、農業に興味をもってくれる可能性がふくらむように思いました。保育園で土と触れ合う時間をたくさん持つことで将来が明るくなったりしないでしょうか・・・現実は厳しいでしょうか・・・意見になっていなくてすみません。

子ども向けにイベントをやると、若い世代の父母にも周知できて楽しくていいかと思いません

子どものうちからもっともっと農作業を体験する機会があると嬉しい。身近に感じてほしい。大人になって、豊田の特産品をいくつも言えるようになってほしい。

農家さんの楽しいイベントをたくさん企画して頂きたい。

概要版がページ、文字が多くて理解しにくい。

概要版は概要なのに概要になっていない。情報が膨大すぎる。